

## エグゼクティブ・サマリー “Ennetix 社製品 x VISOR”

今日、業務アプリはクラウド、バーチャリゼーション、SaaS 化などが一般的になってきています。このような状況で、ほとんどの企業が IT システム全体の構成や動的状态を把握できなくなってきました。x VISOR は人工知能 A IO P S を活用して、IT システム全体を自動発見して、その静的な構成と動的な状況をダッシュボードで表示します。全体並びに各コンポーネットの性能・品質を常時自動測定し、マシーン・ラーニングによる標準偏差からずれた場合にはリアルタイムでアラームします。これらの機能は現行システムの監査・評価、現行システムを理解した上での新規システムの提案、導入、また運用管理に非常に有効です。

米国カリフォルニア州の Ennetix 社は以上のような AIO P S ツールを開発して、販売を開始しました。Ennetix 社は UC Davis 大学のビスワナ・ムカージ教授 (<http://networks.cs.ucdavis.edu/~mukherje/>) が創業した会社です。ムカージ教授はコンピュータ・ネットワークの権威であり、彼の下で PhD (博士号) を取得したエンジニアが多数、シリコンバレーで活躍しています。

その AIO P S ツールの製品名は x VISOR (エックス・バイザー) と呼びます。xVISOR はクライアントがアクセスするサーバを自動的に発見して、その経路の全部のルーター、どのようなキャリアやネットワーク・セグメントでアクセスしたか、また全体の遅延やエラー、ならびにホップ・バイ・ホップの遅延やエラーを測定し、記録します。

ユーザー側には XOME というソフトウェアを L i n u x P C 上にインストールするだけです。ユーザーのデータは XOME で収集して、クラウドに置いた x V I S O R クラウドに送信して、ビッグデータ処理 (データベース化、A I / M L 処理) を x V I S O R クラウドが行います。また、x V I S O R クラウドは XOME に指示して、必要なデータの収集も行います。x V I S O R クラウドは基本的には Ennetix 社が管理・運用しています。ただし、それらを自社のデータセンターに置きたいというお客様にはプロフェッショナル・サービス込みで提供します。

以上のように x VISOR は IT システム全体を (1) 監査・評価出来ます、(2) 現行 IT システム全体を評価し、問題を解決し、かつベネフィットの高い新提案が出来ます、(3) 新しいアプリケーション導入前に現行システム全体を把握し、現在の問題を解決したのちに、新しいアプリケーションをインストールできます。(4) 運用管理の自動ツール、予知・予防、キャパシティプランニングとして活用することが出来ます。

以上